



県文化賞に岡崎桜雲さん

11月3日、高知市の高知会館で高知県文化賞の表彰式が行われ、書家の岡崎桜雲さん(土佐山田町)に表彰状が授与されました。

この賞は、高知県の文化向上に大きな功労があった個人や団体を表彰するもので、書道をはじめ、短歌や俳句など幅広い分野で活躍されてきた岡崎さんの功労が認められての受賞となりました。

現在主宰している『桜雲書道会』には、3歳から101歳までの幅広い年代で多くの生徒がいるとのこと、毎年開催している展覧会は今年で67回目を迎えたそうです。

「書道という芸術は、もともと手紙や記録など実用の目的があって生まれたもの。その原点を忘れず、自らの言葉を作品にしていきたい」と朗らかに話され、自らの心を伝える書を、よどみのない筆運びで書き上げていました。

みんなで学ぶ道徳参観日

10月14日、大栃中学校で、宮城教育大学の相澤秀夫名誉教授を講師に招き、全校一斉授業と講演会を行いました。

これは、道徳参観日として行われたもので、当日は生徒たちとともに家族の皆さんや地域の方々も参加し、生徒と大人と一緒に学ぶ一日となりました。生徒の一人は、「家族愛がテーマで、授業を観に来ていた両親も『勉強になった』と言っていました。家族の仲が深まるきっかけにもなりました」と話していました。

香美市では、全ての小中学校で道徳参観日を公開しています。詳しい日程等は、各学校にお問い合わせください。



光と陰が刻む透明の世界

11月10日から12日まで、奥物部ふれあいプラザで、武政健夫ガラス彫刻地域巡回展が開催されました。

世界的なガラス彫刻家として有名な武政さんは、四万十町窪川の出身で、現在はアメリカのニューヨーク州の自宅を拠点に創作活動を行っています。

植物や鳥などをモチーフにした作品の数々は、見る角度によってさまざまな表情を見せてくれます。訪れた人たちは作品にじっと見入り、その卓越した技法に感嘆の声を上げていました。

今回の展覧会は、特に地域の中学生に見てもらいたいという武政さんの思いがあって実現したものです。11月12日には、大栃中学校の生徒たちが観覧に訪れ、武政さんの話を聞きながら光と陰で表現された芸術作品に見入っていました。

子ども会活動に貢献

10月28日、安芸市総合社会福祉センターで全国子ども会連合会表彰が行われ、三谷恵美子さん(土佐山田町楠目)に表彰状が授与されました。

三谷さんは、平成10年から旧土佐山田町の子ども会連合会委員として活動し、合併後は香美市子ども会連合会組織の再編に尽力されました。平成21年からは、会長として子ども会活動を支えるとともに、後進の育成にも熱心に取り組み、その助言や行動は委員の手本となり、頼りがいのある支援者として現在も活躍されています。

また、全国子ども会連合会からは、今回の表彰に際して、三谷さんの活動を理解し協力してこられた、夫の三谷文雄さんに対しても感謝状が贈られました。



▶表彰状を手に笑顔の三谷さん



大栃駅を花でいっぱい

10月15、16日に、大栃保育園の園児12人と大栃小学校児童クラブ(もんべえクラブ)の子どもたち11人、また、先生方の協力により、物部地区公民館事業のふれあい花壇事業を活用して、JR四国バス大栃駅前の花壇に、チューリップの球根100個とピオラ80ポットを植えました。

来年の春にはたくさんの花々が色鮮やかに開花し、大栃駅が花を通じて地域の人々のふれあいの場になりそうです。

日頃の訓練を發揮 高知県中央地区消防操法大会

10月7日、高知県消防学校で、高知県中央地区消防操法大会が開催されました。

操法大会では、自動車ポンプ操法、小型ポンプ操法の2種目が行われます。基本的な消防ポンプ操法を覚えることで、消防団員として規律のある団体行動を養うと同時に、士気を上げ、消防活動の充実を図ることを目的としています。



▲神池分団(後列左から楮佐古正志さん・山下淳史さん・秋友崇光さん・前列左から西久保恒さん・岡山真さん)

香美市からは小型ポンプ操法に神池分団、日ノ御子分団が出場しました。

両分団ともに日頃の訓練成果を發揮し、日ノ御子分団は見事3位に入賞しました。

大会に出場されたチームの皆さん、出場チームに大きな声援を送られた応援団の皆さん、本当にお疲れさまでした。



▲日ノ御子分団(後列左から山中三良さん・山内陽康さん・前列左から日和佐干城さん・山本一典さん・山中智史さん)